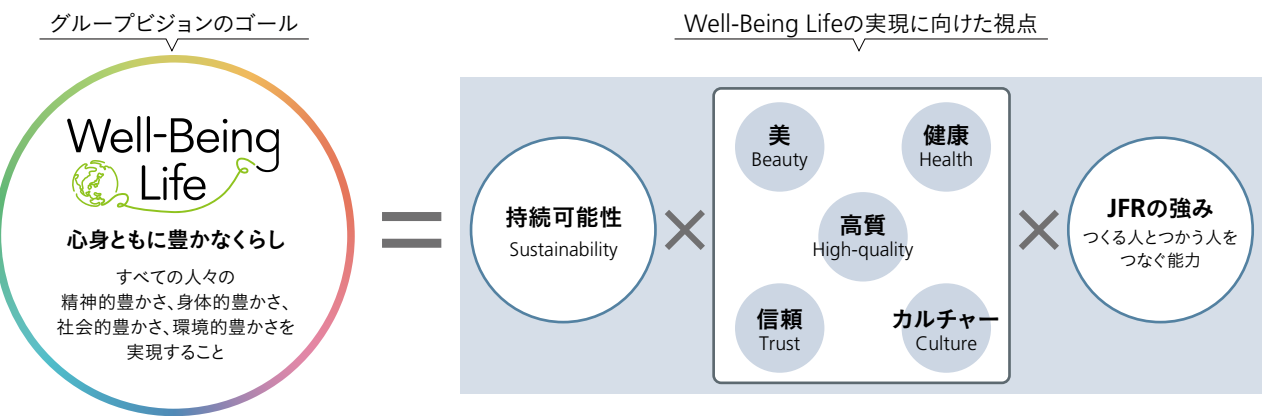


# サステナビリティ

## グループビジョンのゴールである「Well-Being Life」

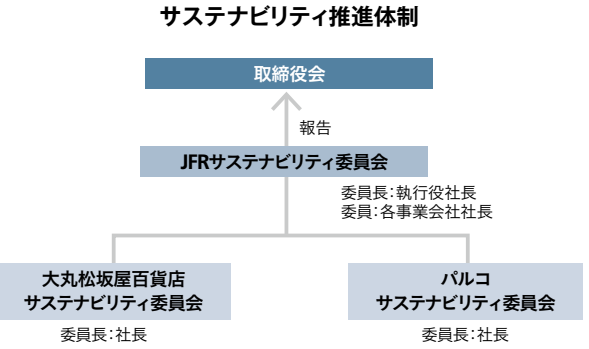
昨今、企業を取り巻く環境はより一層不透明さを増しています。また、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響によりニューノーマル化した社会では、企業は社会的価値を理解し、サステナビリティ経営の傘のもと、経営を実行しなければならぬ時代となっています。

当社は、サステナビリティの概念を企業戦略および事業戦略に組み込むことで、将来の成長に向けた「持続可能な経営の枠組み」を獲得できると考えています。そして、独自の新しい豊かさを「Well-Being Life」とし、グループビジョンのゴールと位置づけました。



## サステナビリティ推進体制

サステナビリティ経営をグループ全社で横断的に推進するため、代表執行役社長直轄の諮問委員会として「サステナビリティ委員会」を、2019年から半期に1度開催しています。委員会では、グループの環境・社会課題への対応方針などを共有し、当社グループの環境・社会課題に対する実行計画の策定と進捗モニタリングを行っています。また、取締役会では、委員会で協議・決議された



## 「Well-Being Life」=心身ともに豊かなくらし

当社が考える「Well-Being Life」とは、従来の物質的・経済的豊かさに加え、精神的(知的・文化的)、身体的、社会的豊かさ、そしてそれらを取り巻く環境の豊かさを実現した「心身ともに豊かなくらし」です。

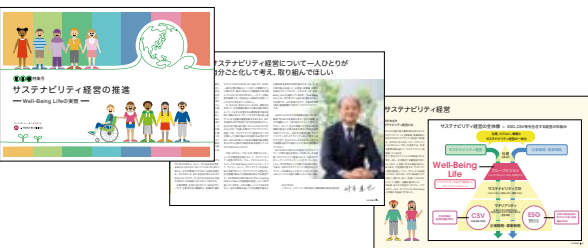
当社は、「持続可能性」と、当社らしさである「美」「健康」「高質」「カルチャー」「信頼」と、当社の強みである「つくる人とつかう人をつなぐ能力」を掛け合わせた視点で、ステークホルダーの皆様に「Well-Being Life」を提案していきます。

## Well-Being Lifeの実現に向けた視点

内容の報告を受け、当社グループの環境・社会課題への対応方針および実行計画などについての論議・監督を行っています。

## 社内浸透

サステナビリティ経営を推進するうえで重要なのは、従業員一人ひとりがサステナビリティ経営の重要性と7つのマテリアリティを正しく理解し、自分ごと化することであると認識しています。そこで、当社では、代表執行役社長自らが、説明会や研修の場を通じて、従業員と対話する機会を設けています。また、社内報の発行やサステナビリティ情報に特化した社内サイト、社内SNSを活用し、従業員への情報提供を行っています。



## 7つのマテリアリティ 長期目標一覧

| マテリアリティ・関連するSDGs                                                        | 主なステークホルダー                  | 2030年KGI                                                                                                                  | 2030年KPI                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>最重要課題</b><br><b>脱炭素社会の実現</b><br>7 再生可能エネルギーの拡大<br>13 気候変動に具体的な対策を    | お客様<br>お取引先様<br>従業員<br>地域社会 | ● 脱炭素社会をリードし次世代へつなぐ地球環境の創造                                                                                                | ● Scope1・2 温室効果ガス排出量60%削減(2017年度比)<br>● 事業活動で使用する電力に占める再生可能エネルギー比率60%<br>● 再生可能エネルギーの自家発電・自家消費拡大                                                                                 |
| <b>新規追加</b><br><b>サーキュラー・エコノミーの推進</b><br>12 つくる責任<br>13 気候変動に具体的な対策を    | お客様<br>お取引先様                | ● サーキュラー・エコノミーの推進による未来に向けたサステナブルな地球環境と企業成長の実現                                                                             | ● 廃棄物排出量(食品含む)50%削減(2019年度比)<br>● 「エコフ」リサイクル回収量累計3,000t<br>● 使用済み製品のリサイクルや再製品化の拡大<br>● シェアリング・サブスクリプション・アップサイクル等事業シェア拡大                                                          |
| <b>サプライチェーン全体のマネジメント</b><br>7 再生可能エネルギーの拡大<br>13 気候変動に具体的な対策を           | お客様<br>お取引先様                | ● お取引先様とともに創造するサプライチェーン全体での脱炭素化の実現<br>● お取引先様とともに創造するサステナブルなサプライチェーンの実現<br>● お取引先様とともにサプライチェーンで働く人々の人権と健康を守るWell-Beingの実現 | ● Scope3 温室効果ガス排出量40%削減を目指す(2017年度比)<br>● お取引先様行動原則のアセスメント実施および質問票の回収率95%・浸透率100%<br>● お取引先様と従業員の人権が尊重される事業活動の定着                                                                 |
| <b>ダイバーシティ&amp;インクルージョンの推進</b><br>5 ジェンダー平等を促進しよう<br>8 働きがいも経済成長も       | お客様<br>従業員                  | ● 全ての人がより互いの多様性を認め個性を柔軟に発揮できるダイバーシティに富んだ社会の実現                                                                             | ● 女性管理職比率50%を目指す<br>● 70歳定年を目指す<br>● 障がい者雇用率3.0%<br>● 多様な能力の発揮による事業成長の実現<br>● 多様なお客様への売場・商品・サービスの展開                                                                              |
| <b>ワーク・ライフ・インTEGRATIONの実現</b><br>3 すべての人に健康と福祉を<br>8 働きがいも経済成長も         | 従業員                         | ● 多様性と柔軟性を実現する未来に向けた新しい働き方による従業員とその家族のWell-Beingの実現                                                                       | ● 育児・介護離職率0%<br>● 育児休職取得率100%<br>● 従業員満足度80%<br>● いつでもどこでも動く組織の実現による生産性の向上                                                                                                       |
| <b>新規追加</b><br><b>お客様の健康・安全・安心なくらしの実現</b><br>3 すべての人に健康と福祉を<br>12 つくる責任 | お客様                         | ● 未来に向けたお客様の心と身体を満たすWell-Beingなくらしの実現<br>● 未来を見据えた安全・安心でレジリエントな店づくりの実現                                                    | ● JFRグループのサステナビリティ活動へのお客様認知度・共感度80%<br>● ライフスタイル全般におけるエシカル消費の拡大<br>● エンタテインメント事業やウェルネス事業の拡大による生活の彩りの提供と新たな顧客体験の創出<br>● 最新テクノロジーを取り入れ、防災・防疫に対応したレジリエンスの高い店づくりと健康に配慮した快適で心地よい空間の提供 |
| <b>地域社会との共生</b><br>11 住み続けられるまちづくりを<br>17 パートナリシップで目標を達成しよう             | お客様<br>地域社会                 | ● 地域の皆様とともに店舗を基点とした人々が集う豊かな未来に向けた街づくりの実現                                                                                  | ● 文化や歴史をはじめとする地域の特徴を活かした街の魅力向上、街の賑わい創出に資する開発<br>● 店舗のCSV化(サステナビリティ化)の横展開<br>● 行政、教育機関、NGO・NPOとの連携による地域活性化の推進<br>● 地産地消などローカルティコンテンツの発掘・発信による地域活性化の推進                             |